

2年国語「おさるがふねをかきました」(まど・みちお)授業記録

京都の会 2年担任 吉川恵美子

授業展開案

①一番変だ・おかしいと思うところを出し合う。

・6・7がおかしいと思う子が多い。(と予想)

*教材は渡してある。その際に、一度読んで、おかしいと思うところに挙手させている。すると、6・7への引っ掛かりが多かった。

②6と7の何がおかしいと思うのか、出し合う。

(予想される意見)

・ふねにしっぽをつけて、じょうずにかけたなんて、おかしい。

・しっぽをつけたふねは、ふつうは、大しっぽい。

・だいたい、ふねにしっぽなんてつけようなんて思わない。

*できるだけ、たくさん出させる。

③問題の形にする。

「なぜ、しっぽをいっぽんつけたら、ほんとにじょうずにかけたなになるのか？」

④意見を出させる。

(予想される意見)

・なんだか少しさみしいと思って、しっぽをつけたことで、さみしくなくなったから。

それは、どこを読んで、そう思ったの？

・5番

「なんだかすこしさびしい」から、しっぽをつけたと書いてある。

「さびしい」って、どういうこと？

対立 ①絵がさびしい(物足りない)

②自分がさびしい(しっぽをつけたふねをともだちにしたかった)

5) これは、どこを読んだら、解決できるかな？

・7番

「ほんとにじょうずにかけた」と書いてある。「ともだちができた」「さびしくなくなった」とは書いていない。このさるにとって、物足りないものは、しっぽだったということになる。

6) さるにとっての「ほんとにじょうず」とは、どういうこと？

・しっぽをつけたふね

・ふつう、みんなが思う「じょうずなふね」とはちがう。

・自分(さる)にしかかけないふね

7) はじめから、そういうふねをかきたかったのか？

→これは、どこを読んだら、わかるか？

→1番「ふねでもかいてみましょう」

対立 ①じょうずなふねをかこうと思った。

②じょうずに絵をかきたくて、ふねならじょうずに書けそうかなと思って、ふねでもかこうと思った。

「ふねでも」に注目。→はじめから、ふねにこだわっているわけではない。

*はじめから、ふねをかこうとしていたのではない。じょうずに絵をかいてみたくて、ふねならかけそうかなと思い、ふねをかいた。

→もっと、じょうずにかこうとして、けむりをはかすえんとつをかいたが、まだ、ものたりなくて、しっぽをつけてみたら、なんと、「ほんとにじょうず」なふねになった。すべて、予定したものではなく、たまたま、すごい結果になって、さかだちまでしたくなった。

授業記録

*今回は、授業展開案にこだわらず、子どもたちから出てきた意見の中から対立を組んで、子どもたちの思考の流れに則り、授業を展開していくことにした。子どもたちに追求させてみようと思って取り組んだが、やはり、引っ張っていくことになってしまった。その最大の理由を検討していただきたいです。

T 1 どうぞ。

C 1 まず、一回読もう。(なおき)

C ゆっくり。

C 2 みんな準備OK？(なおき)

C はい

(読む。)

C 3 みんなが考えてきた「変だ」「おかしい」をだしあおう。(りくと)

T 2 その前に、いい？

C はい

T 3 これ簡単に言ったら、どんなお話なんかな？

C 4 おさるがふねをかいたお話。(じゅき)

C 5 もう少しくわしく(むつき)

T 4 どんなできごとが起こったの？

C 6 おさるがふねをかいて、けむりをもこもこはかそうとえんとつをたてたり、すこしきみしいから、しっぽをつけたしたり、じょうずにめっちゃかけて、さかだちいっぱいやりました(なお)

C 7 ちょっとちがう。おさるがふねをかいて、さいご、じょうずにかけたから、さかだち

いっかいやった。(みいな)

T 5 どこがちがった？

C 8 なおさんは長く言ったけど、みいなさんは短く言った。

T 7 ああ、短く言うてくれはったんやけど、なおさんと違うとこだけ言うてくれはったんやんか。どこが違った？

C 9 さかだち一回やりました(じゅき)

T 8 さかだちいっかいやったのは、なんでかを言わはったで。

C ほんとにじょうずにかけたから。

T 9 他の人は、どう？

C 10 なんだかすこしさみしくなっちゃった。(みいな)

T 10 おお！なんだかすこしさみしくなっちゃったん？おさるさんが？

C え？船が・・・(口々に)

C 11 けむりをもこもこはかそうとえんとついっぱいたてたけど、なんだかすこしさみしくなった。(しんべい)

T 11 ああ。さみしくなったの？さるが？

C 違う。船が。(しんべい)

T 12 船が？

C 絵の中の船。おさるが。(口々に)

T 13 あ、二つ出てる。①さるがさみしい。②絵の中の船がさみしい。

C さるの気持ちじゃない

T 14 どっちかな？手を挙げて。

*指示調べ ①さるがさみしい 1人

②絵の中の船がさみしい 24人

T 15 さるがさみしいんじゃないの？さるがさみしくって、しっぽをふねにつけてなかまにして、さみしくないようにしたんじゃないの？

C 違う！

T 16 絵の中の船がさみしいって、どういう意味なん？

C 12 なんか、あの、小さかったり、間が空いてたりすると、それだけで、なんか、ちょっとさみしくなる・・・(むつき)

T 17 気持ちが？

C 違う。中身。

C 13 なんか足りひん

T 18 あ、足りないってこと？

C うん！

T 19 足りないということも、さみしいって言うなあ。物足りない。なんか足りない。じゃあ、2番の人は、なんか足らんなあと思って、しっぽを付けたの？その理由は？

- C14 えんとついっぱいぼんつけたけど、でも……。あれ？さみしいかもしれん……。(みいな)
- C15 これは、さるが船をかいで、その船をどうやってかいたかということ言ってるから、船のことやし、だから、2番。
- C16 さるの気持ちやったらさ、しっぽもいっぱいぼんつけましたって……
- T20 ふねにしっぽをつけて、「あ、これで、ぼくのなかまや。」って、「やった！」って思ってるんやないの？
- C17 そうもあるかもしれん。(みいな)
- C18 うん。そうもあるかな。(なお)
- T21 そうもある？じゃあ、もう、1番やな。
- C がやがや
- C19 でもさあ、3番と4番で、ふねにえんとつをつけてる。絵にえんとつをつけてる。
- T22 そうしたらさ、1番と2番までで、おさるのかいたふねって、どんなんやと思う？
- C ただのふね……
- T23 描いてみて。
- *何人かに黒板に描かせる。(じゅき・りくと・りく・ちひろ)
- T24 こんな船描いたんやな。ほんなら、ここで、今みいなさんが言ったのは何？
- C けむりをもこもこはかそうと
- T25 はかそうとってどういうこと？
- C 思って して
- T26 すごいねえ。はかそうとって、えんとつたてたん？ほな、たててくれる人？けいたさん。
- C19 (えんとつを描く。)(けいた)
- :*じゅきもたてる。
- T27 ああ、こうして描かあったんやな。ほんで、ここや。先生とゆうひさんは、さるがさみしいから、しっぽのある船を作って、仲間にしたって思ってるんやな。2番の人は、絵の中の船が、まだ、ちょっと足らんあと思って、しっぽをつけたんやな。証拠を言わな、先生とゆうひさんは、納得しないよ。
- C20 えんとついっぱいぼん絵で描いて、1番やったら、急に、さるの気持ちになってる。
- C がやがや
- T28 これやったら、まだ、仲間じゃないし、しっぽをはやして仲間にしたって思ったんじゃないの？
- C 1番かも……
- T29 おお！1番になった？負けやな。先生とゆうひさんに負けやな。
- C いや、まだ、負けてない。(口靴に)
- C20 さるが船を描きたいから描いたし

- T 30 あ、ちょっと、今、なんか。さるは、初めから、船を描きたかったん？
C ひまやから（がやがや）
- T 31 ここで、問題作れるわあ。さるは、初めから、船が描きたかったん？
C 21 「でも」って書いてあるから、することがなかったから、描いてみた。（むつき）
- T 32 やることないし、やることないし、ふねでもかこうと思ったん？
C ためしてみた・・・
- T 33 これ（「み」）なに？これ？
C 挑戦。チャレンジ。
- T 34 何かを試すために、チャレンジするんやな。ためす。できるかどうか。じゃあ、試すのは何？
C がやがや
- T 35 あ、船でも描こうかあって、これ、ひまなんやな？どっち？
① ひま ②そうじゃない
C ②の方が、いっぱい言えるなあ がやがや
- 指示調べ ①ひま 2人 ②そうじゃない 23人
- T 36 ひとつ、3年生でも使えることを教えてあげる。「～してみる」は、何かを試そうとしてチャレンジするんやな。そうしたら、必ず、その結果が書いてあるはずなんや。
C あ、そうか。わかった。なるほど。（がやがや）
- T 37 どこに結果が書いてあるの？
C 7と8！
- T 38 これ（7・8）が結果なん？じゃあ、どういう結果になったの？
C ほんとにじょうずにかけたな
- C 22 すんげえ上手に描けた！（りく）
C 23 強調してる（みいな）
- T 39 ほんとにじょうずにかけたな。「な」は、感動してるんやな。
C ここまで上手に描けるとは思わへんかったけど、上手に描けた。（むつき）
- T 40 ということは、これが結果なんやろう？ひまやったら、「これで、ひまじゃなくなつた。楽しかった。」じゃないの？
C 24 さかだちまでしたのは、ほんとに上手に描けたから。（みいな）
C 25 なんで、逆立ちする必要があるの？（りくと）
C 26 めちゃめちゃ上手に描けたから。（りく）
- T 41 サッカー選手がシュート決めたら、バク転したり、走って行って、抱き着いたりしてはるよなあ。じゃあ、これが試し終わりやとしたら、何を試したん？
C 船を上手に描くこと
- T 42 船なん？
C 絵

T43 なんで、船じゃないの？

C 「でも」って書いてるから。なんでもよかった。

T44 おお！すごいとこまで来た。さあて、1番か2番か、どっち？

C27 結果のところ、ほんとにじょうずにかけたなって、絵のことを言ってるから、1番は、間違い。(みいな)

C28 さるの気持ちやったら、なかまができてうれしいって、気持ちを書かなあかんけど、「ほんとにじょうずにかけたな」って書いてあるから、じょうずにかけたなって感動してるぐらい船の絵が上手に描けた。(なお)

C29 成功したんや。

T45 すごい。そうやな。挑戦したら、成功したんや。大成功や。じゃあ、どっち？

C30 2番！

* 「さみしい」の対立の解決を1時間かけてやることになったが、かなり、あっちこっち行ってしまい、まとまりのつかない授業になってしまった。「なぜ、しっぽを付けたらほんとにじょうずにかけたなになったのか？」という大きな問題にまでたどりつけなかった。